

2023年3月17日  
農林中央金庫  
JA三井リース株式会社

## 農林中央金庫とJA三井リース株式会社との サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

農林中央金庫（代表理事理事長：奥 和登、以下「当金庫」）と、JA三井リース株式会社（代表取締役 社長執行役員：新分 敬人、以下「JA三井リース」）は、サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）による金銭消費貸借契約（以下「本件ローン」）を締結いたしました。

SLL は、借り手の経営戦略に基づくサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）を設定し、貸付条件と SPTs の達成状況を連動させることで、借り手に目標達成に向けた動機付けを促し、環境・社会の面から持続可能な事業活動および成長の支援をしていくことを目指すものです。

JA三井リースは、サステナビリティ経営の推進にあたり、5つのマテリアリティ（重要取組課題）を特定したうえで、7つの重点取組および KPI を設定しております。また、当該マテリアリティの1つである「カーボンニュートラルの実現に貢献」に向け、KPI に「再生可能エネルギー関連投融資額累計 5,000 億円（2021～30 年度）」および「2030 年度の温室効果ガス排出量 50%削減（2021 年度比）」を掲げております。

当金庫は、自らの存在意義（パーパス）を「持てるすべてを「いのち」に向けて。ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます」と定めています。2030 年までにサステナブル・ファイナンスの新規実行額を 10 兆円とする目標を設定するなど、サステナブル経営に向けた歩みを進めており、JA三井リースが推進するサステナビリティ経営の方向性にも合致しています。本件ローン対応を通じて、CO<sub>2</sub>排出量削減をはじめとした JA三井リースによる気候変動問題の解決に資する取組みを支援してまいります。

本件の SPTs は、JA三井リースが掲げる上記 KPI の実現に向けた中間目標の達成状況が対象となります。なお、本件ローンの契約に適用されるフレームワーク<sup>1</sup>については、SLL 原則への適合性、および設定した SPTs の合理性について、株式会社日本格付研究所より 2022 年 12 月 12 日付で第三者意見を取得しており、上記 SPTs については、野心度および有意義性等の観点から SLL 原則に適合していると評価されております。

### 【本件ローンの概要】

■ 実行日	2023年3月17日
■ 資金用途	長期運転資金

### 【本件ローンが貢献する主な SDGs】



<sup>1</sup> JA三井リースが 2022 年 12 月に策定した「サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク」。

【参考リンク】

J A三井リースのサステナビリティについて：

<https://www.jamitsuilease.co.jp/sustainability/>

株式会社日本格付研究所による第三者意見：

[https://www.jamitsuilease.co.jp/assets/pdf/sustainability/sustainabilitylinkedfinance\\_framework\\_t hirdpartyopinion.pdf](https://www.jamitsuilease.co.jp/assets/pdf/sustainability/sustainabilitylinkedfinance_framework_t hirdpartyopinion.pdf)

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 企画管理部 広報財務 IR 班（宮澤・水元） TEL 03-6362-7172

J A 三井リース株式会社 経営管理部 広報 IR 室 TEL 03-6775-3002